

六ヶ所高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター
に係る定期報告書
(平成18年11月報告)

1. 廃棄物（ガラス固化体）受入れ・管理数量及び主要な保守状況（平成18年11月分）

1 ガラス固化体受入れ数量

月計	0 (本)
累計	1,180 (本)

2 ガラス固化体管理数量

月計	0 (本)
累計	1,104 (本)

3 主要な保守状況

①施設定期自主検査（年次検査）

冷却空気温度の測定等を行う計測制御設備の冷却性能の確認、収納管排気設備の入口圧力の測定等を行う計測制御設備の警報の作動、廃水貯槽の漏えい水の検知装置の警報の作動、ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒の処理能力の確認、受入れ建屋天井クレーンの輸送容器つり上げ高さ制限のインターロックの作動、受入れ建屋天井クレーンの電源喪失時の輸送容器保持の確認、輸送容器搬送台車の過走行防止のインターロックの作動、輸送容器搬送台車のガラス固化体の抜出しに係るインターロックの作動、ガラス固化体検査室天井クレーンのガラス固化体つり上げ高さ制限のインターロックの作動、ガラス固化体検査室天井クレーンのつり具のガラス固化体着脱及び電源喪失時のガラス固化体保持の確認、貯蔵建屋床面走行クレーンのつり具のガラス固化体着脱及び電源喪失時のガラス固化体保持の確認、換気設備の高性能粒子フィルタ粒子除去効率の確認、換気設備の負圧の確認、収納管排気設備の高性能粒子フィルタ粒子除去効率の確認、収納管排気設備の負圧の確認、放射線管理用固定式モニタの校正及び警報の作動、空気中の放射性物質の濃度測定

2. 放射線業務従事者の被ばく状況（平成18年度第 四半期分）

	放射線業務従事者数 (人)	線量 (mSv) 区分別放射線業務従事者数 (人)					
		5以下 注1)	5を超え 15以下	15を超え 20以下	20を超え 25以下	25を超え 50以下	50を超えるもの
当該四半期							
年度							

注1) 被ばく線量が検出限界未満の放射線業務従事者を含む

注2) 四半期毎の報告月に限り記載する。（年度については第4四半期に限り記載する）

3. 女子の放射線業務従事者の被ばく状況（平成18年度第 四半期分）

放射線業務従事者数 (人)	3月間の線量 (mSv) 区分別放射線業務従事者数 (人)			
	1以下 注1)	1を超え 2以下	2を超え 5以下	5を超え るもの

注1) 被ばく線量が検出限界未満の放射線業務従事者を含む

注2) 妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を書面で申し出た者を除く

注3) 四半期毎の報告月に限り記載する。

4. 放射性物質の放出状況（平成18年11月分）

放射性廃棄物の種類		測定箇所	平均濃度
気 体	放射性ルテニウム	排気口	ND (Bq/cm ³)
	放射性セシウム	排気口	ND (Bq/cm ³)

(注) NDは、検出限界値以下を示す。

5. 放射性液体廃棄物の保管廃棄量（平成18年11月分）

放射性廃棄物の種類	当該期間の保管廃棄量	累計保管廃棄量
液体	0 (m ³)	0 (m ³)

6. 放射性固体廃棄物の保管廃棄量（平成18年11月分）

放射性廃棄物の種類	当該期間の保管廃棄量	累計保管廃棄量
固体	0 (本)	644 (本)

(注) 当該廃棄物貯蔵管理センターから発生した放射性固体廃棄物の量を200ℓドラム缶に換算した本数。